

建設委員会 所管事項審査 におきまして。

現地調査、
聞き取りを行いました。



潟上市内(乱橋)でおこった クマによる人身事故について提言

クマは国道法面の生いしげった草木へと身をかくし、人家へと近づいたと考えられる。人に近づかせないようにするためには、草木をキレイにし、クマに対しても明確にすみ分けをしておく必要があり、事前に対策がなされていれば起こらなかった事故である。再発防止のため、整備を早急をお願いしたい。



県がすぐ対応し、改善がなされました。

まず動く!! 議会外での、いろいろな活動。

消防団活動



天王第二分団員として
防火水槽の見回りなどを行う。

医師会との勉強会



秋田県医師会による
HPVワクチン勉強会に参加。

建設委員会 成瀬ダム視察



東成瀬村
成瀬ダム建設現場を視察。

あなたの声を聴かせてください。

事務所 Tel.018-878-5961
〒010-0201 潟上市天王字上江川47-1276
E-mail s4ign@uryu-nozomu.com

瓜生のぞむの
オフィシャルHPはこちら
<https://uryu-nozomu.com/>

瓜生のぞむ

検索



NOZOMU Report

発行/秋田県議会議員 瓜生 望

vol.2

瓜生のぞむ | 県政レポート | 2021



瓜生のぞむ

県議会議員となって7カ月が過ぎました。
右も左も分からない中での挑戦でしたが、
会派の先輩や地元の皆様のご指導のおかげ
もあり、着実に前に進んでいます。

目の前の問題を1つ1つ解決していくこと
と合わせて、この先の未来へとつないでいく
ことも重要です。そのためにも、これまで以上
にまず動き、しっかりと聞いてまいりたいと
思います。

引き続きのご指導を、よろしくお願いいたします。



実績

飲食店 支援の拡充

6月総括審査にて提言!!

以前の「飲食店緊急支援金」支援対象は、コロナ前比
50%以上の減収に対しての支援でしたが、「売上
20%~30%が毎月減少している事業者が多く、支援
もなく経営が大変苦しいとの声がある。このような
事業者に対し、今後支援が必要と考えるが」という
提言をし、支援が拡充された新たな「飲食店等事業
継続緊急支援金」ができました。

旧

飲食店緊急支援金
支援要件50%以上の売上減。

支援が大きく 拡充されました。

新

飲食店等事業継続
緊急支援金

20%以上の売上減。関連事業者も該当に。

一般質問

一般質問を一部抜粋、要約してご紹介します。

ダイジェスト



1 八郎湖のこれからのについて

公約事項

- ① これまでの水質保全対策に対する評価について
- ② 今後の水質保全対策の方向性について
- ③ 八郎湖における漁業の持続可能性について
- ④ ヤマトシジミの繁殖の可能性について

2 健康寿命日本一に向けた取組みについて

公約事項

- ① 取組みの現時点での評価について
- ② 健康状態の見える化の取組推進について

3 「スポーツ立県あきた」の推進について

公約事項

- ① 各競技の裾野拡大に向けた環境の整備について
- ② 中学校の運動部活動について
- ③ 「チームAKITA」による選手強化について

4 不登校の児童生徒への支援について

公約事項

八郎湖のこれからのについて

Q 今後の水質保全対策の方向性について

八郎湖の長期ビジョン「農業や漁業など湖にかかわる人々に持続的な恵みをもたらす。水遊びや遊漁など子どもから大人までが潤いに包まれる。鳥や魚や植物など多様な生き物が命を育む。」を策定し、令和8年度を達成の目処としておりますが、八郎湖環境の改善、そしてビジョンの達成に向けて、これまでの対策の評価を踏まえて、具体的にどのような対策を打っていくのか知事の思いも含めてお聞かせください。

A 湖沼の水質を改善するためには、自然循環により改善することができると考えますが、大量かつ継続的な水の流入が不可能なことから、流入する汚濁負荷量の削減が最も有効で、湖内浄化やアオコの対策を継続し、発生源対策を一層強化していく必要があります。

流域の農地の割合が高いため、農業排水からの汚濁負荷を削減する取組として、自然操舵システムを活用した田植え機の普及により、濁水を出さない移植栽培の拡大を図ってまいります。

また、大湯村において着手された国営かんがい排水事業によって、農業用水路の改修、沈砂池の設置が行われることにより、汚濁負荷量が低減していくものと期待しています。

Q ヤマトシジミの繁殖の可能性について

A 平成2年の八郎湖の漁獲量が一万トンを超えたという出来事がありました。ヤマトシジミの漁獲量の全国1位は島根県宍道湖で約4,000トンですので、当時の八郎湖は全国一位になるだけの破壊力を秘めているとも言え、私自身ヤマトシジミによる八郎湖の産業の復活を夢見てしまうのです。

また、ヤマトシジミの水質浄化能力を考えると、八郎湖の水質改善の解決策の一つにもなり得るのではないかと考えます。これまでヤマトシジミの種苗生産、放流、生育調査を行ってきていますがこれまでの研究結果も踏まえて、八郎湖におけるヤマトシジミの現状や繁殖の可能性についてお聞かせください。

A ヤマトシジミは汽水域に生息し、産卵期には塩分が必要なことから、八郎湖での自然繁殖は困難であります。一方、稚貝に成長すれば淡水でも生育は可能なことから平成5年から放流試験を行いました。2年以上生存した個体はほとんど確認されず、平成13年に放流を中止しました。

その後、湖沼水質保全計画にシジミによる水質浄化対策が盛り込まれ、平成20年に種苗放流と追跡調査を再開しましたが、コイの食害が多いため、保護ネットによる試験を実施しました。しかし、いまだ生存率が3%未満と低いため、放流サイズの大規模化などの対策をし、引き続き調査を進めてまいります。

- 漁業+関わる産業の収益 UP → 雇用・起業・所得が増える可能性。
- 観光産業としての八郎湖 → マリンスポーツなどが盛んになる可能性。
- 水辺を活用した宿泊、飲食、などの新産業が生まれる可能性。

八郎湖の未来のために、活動が進んでいます。



美しい八郎湖を未来に残す協議会

八郎湖の水質改善について精力的に県へ働きかけるなど活動を続けてくださっています。



T - s a c

しじみ産地復活のために、地元の有志4名で立ち上げた団体。※市や漁協の許可は得ております。



水質改善

産業の発展

観光創出

漁業振興

みんなで描きたい

八郎湖の将来ビジョン

一般質問発言内容動画はこちら



「民・官・学」が本当の意味で連携し、地域のムーブメントを創り出す!!
八郎湖再生への取り組みが、地域活性化につながっていくと信じて活動をしていきます。